





入院診療計画書 「 腰椎麻酔下で抜釘術 を受けられる

さんへ」

(病名) (症状) (説明日) 年 月 日 (ご本人・ご家族)

確認サイン

経過	入院時(手術当日)		術後1日目	術後2日目	術後3日目(退院時)
月 日	術前	術後	/	/	/
到達目標	手術後の安静が守れる		創の安静を保ち、疼痛が増強せず生活が送れる		
治療処置	手術衣に更衣してもらいます 持続点滴を行います。 	手術時、尿を自然に出すための管を入れます。 点滴は翌日の食事が開始になるまで行います。	手術をしたところの消毒とガーゼの交換をします。 尿の管を抜きます。 朝食後吐き気がなく、食事が開始できれば点滴を抜きます。	創部の付け替えを行います。	抜糸は外来で行います。 * 病状によっては退院日が変更する場合があります。
手術	□無 ・□有 (術式:)				
検査		なし	必要時採血があります。	なし	
薬剤服薬指導	日頃飲んでいる薬やアレルギーを起こす薬があればお知らせ下さい。	手術後に抗生剤の点滴を行います。 痛みが強いときには痛み止めの座薬や注射を行います。	痛みが強いときにはお知らせ下さい。		退院は創部の状態がよければ早期でもかまいません。
全身管理症状	体温・脈拍・血圧など測ります。 今までの経過や合併症などについてお伺いします。	手術部位の痛みの他、頭痛吐き気などがないかお尋ねします。 その他何でもご遠慮なくお尋ねください。 体温、脈拍、血圧などを15分、30分、1時間おきに測ります。	体温、脈拍、血圧などを適宜測ります。 手術部の痛み、頭痛、吐き気などについてお尋ねします。	体温、脈拍、血圧などを適宜測ります。 	体温、脈拍、血圧などを適宜測ります。 退院時は創部が熱を持っていないか、赤みがないか確認します。
食事栄養指導	特別な栄養管理の必要性 □有 ・ □無 24時以降食べたり飲んだり出来ません。	食べたり飲んだりできません。 ただし、術後6～8時間経過後医師の指示で排ガスや腸音聴取良好な場合は飲水ができる場合があります。	状態で食事が開始になります。 全粥→常食へと状態に応じて食事を変更していきます。	普通食です。	
安静度	シャワー浴	ベッド上安静です。	歩行可(痛みが強いときには車椅子を使用しましょう)		
清潔	なし	なし	身体を拭きます。 	創部を濡らさないように保護してシャワー浴が行えます。	
患者・家族への説明	主治医が入院中の診療計画や手術について説明します。 看護師が入院生活について説明します。 手術の必要物品の説明をしますので準備をお願いします。 手術室の看護師が訪問します。 手術同意書を回収します。 (コピーをお渡しします) 治療・福祉などのご相談がある場合は、看護師が相談員にお尋ねください。	ご家族の方へ、主治医より手術後の説明があります。 	リハビリ開始します	看護師が退院オリエンテーションを行います。	主治医から今後の治療や退院について説明があります。 退院手続きについてや退院後の注意事項、次回受診日についての説明があります。 ※退院は原則的に午前中にお問い合わせ致します。

※症状により、予定と異なる場合があります。分からないことがあれば、お気軽に主治医や看護師にお尋ね下さい。

※なお、この計画書を病院側から受け取られた後は、患者さんの責任の下、保管していただきますようお願い申し上げます。

(病棟 号室) 主治医

印 担当看護師署名

担当者署名